

空港臨海部グランドビジョン 2030 改定に伴う意見交換会の開催について

1 開催の目的

空港臨海部グランドビジョン 2030 の改定については、学識経験者等による専門部会や庁内検討委員会にて検討を進めている。先に実施した区民等アンケートに続き、空港臨海部の事業者や働く方の意見を広く聴取し反映させるため、意見交換会を行う。

2 開催概要

(1) 対象地域及び開催日程

対象地域	開催予定日
昭和島	9月24日
京浜島	9月28日
平和島	10月5日
羽田旭町	10月14日
城南島	10月20日
令和島	10月下旬
東海	10月下旬
羽田空港	10月下旬

(2) 議題

空港臨海部の将来像（案）及び基本方針（案）等について



空港臨海部グランドビジョン 2030 改定の対象範囲

(3) 意見交換会資料（案）

<20年後の空港臨海部について考える>

現状

現在の空港臨海部は・・・
 製造業(ものづくり等)、物流業、が集積し日本の産業を支える一大拠点である。また、公園や海などの自然資源があり、世界の玄関口である羽田空港を有する。

一方で・・・
 製造業の事業者数及び従業員数はここ10年で減少傾向にあるほか、慢性的な交通渋滞、自然資源はあるが活かされていないといったことが懸念される。

果たして20年後はどうなっているだろうか？
 産業の衰退、荒れ果て人が来ない公園、渋滞による物流の停滞・・・など

20年後のチャンス

では、2040年の社会ってどうなっているだろうか？・・・

少子高齢化・人生100年時代 働き方改革・テレワーク AI(人工知能、自動運転、5G)

SDGs・社会貢献 誰もが活躍できる社会 自然共生、災害復興

空港臨海部にもたらされるチャンスは何か・・・

- 自動化による大量生産
- 卓越な技術力を持ったヒト
- 企業ブランドの向上と取引拡大
- 国際的なビジネスの場の拡大
- だれでもどこでも働ける環境
- 生涯において活躍ができる環境 など・・・

将来像の実現に向けた3つの視点

将来像の実現に向けて何をすればいいか？
 3つの視点から考えてみる・・・

高度な産業の集積拠点	人の活動と自然の調和	次世代のインフラ整備
空港臨海部の技術者と国内外の多様な技術者が交流し、協働・競争を通じて新たな価値を創出する。高度産業の一大集積拠点を形成する。	希少な公園、緑地、水辺空間を活かし、働く人や来街者に憩い・ホスピタリティをもたらし、産業・観光レジャー・自然が調和したまちを実現する。	陸・海・空における次世代の交通・物流・インフラ及び交流のプラットフォームを整備されるとともに、災害時における復旧・復興拠点を創出。
例えば・・・ ・企業の成長を促進させる ・挑戦する企業の誘致・育成をする ・国内、世界とのビジネスの場をつくる ・研究、製造、実験ができる場をつくる	例えば・・・ ・アクティビティの空間をつくる ・環境にやさしいエネルギーを使う ・市場や工場を観光に活かす ・新たな交通手段をつくる	例えば・・・ ・空港臨海部の道路を整備する ・最先端技術を使った道路交通環境をつくる ・食料、エネルギー等を備蓄・供給する災害の拠点をつくる ・企業自らエネルギーをつくる ・人々が交流できる場をつくる

空港臨海部のポテンシャル

そうならないために・・・
 勝ち抜いていける空港臨海部、魅力ある空港臨海部にしていくことが重要！！

ではどうすればいいか？

空港臨海部が持っている強み(ポテンシャル)を伸ばしていけば、きっとよくなるはず！！

空港臨海部の持つ強み(ポテンシャル)って何か？
 例えば・・・

- 金属加工・鍛造等オンリーワンの高い技術力やノウハウを持つ企業がある。
- 東京湾岸道路、環七などの幹線道路、東京港、羽田空港の発展によって世界や国内の顧客とのビジネスに最適な場所である。
- 工業専用地域では、24時間工場の稼働等の経済活動が可能である。
- 公園や海などの自然資源や大田市場などの観光資源がある。
- 令和島には新たな開発可能性がある土地がある。

2040年の将来像

空港臨海部の強みと2040年の社会から将来像を想像してみる・・・

ドローンによる配送など物流が高度に発展している

音楽フェスが開催される夜にもぎわっている

公園ではグラмпングでにぎわっている

卓越した技術者が集まりものづくりに挑戦している

世界中から人々が集まり会議や研修が行われている

国内外から技術者が集まり交流している

舟運、連動バスなど新たな交通網が発展している

災害時における復興の拠点となっている

将来像都市方針図

港湾及び研究開発、実証・実験のための場

ものづくりの場

世界交流の場

物流の場

中央防波堤埋立地

凡例

- 交通・交流拠点
- 主要道路
- 構想路線(道路)
- 構想路線(鉄道)
- 構想路線(内運)
- 緑の軸
- 水の軸
- 自然環境(レジャー)拠点の核
- 対象範囲